

みつば会通信

長崎県在宅保健事業みつば会

2021年
10月
第26号



ごあいさつ



● 長崎県在宅保健事業みつば会会長代行 森 夏實（保健師） ●

新型コロナウイルスはデルタ株の変異で、いよいよますます感染拡大の様相です。各会員の皆様は専門性を武器に、自分だけでなく、家族や地域の人達の健康を守る為に努めておられることと思います。

在宅職種であっても私達が活動できるのは、国保連合会の後援や経済的な支援のおかげです。みつば会事務局のたゆみない助力も忘れることができません。感謝申し上げます。

今年もおかげさまで「みつば会通信」26号を発行し、皆様にお届けでき、うれしく思っております。

会員皆様の総意の場である総会は、コロナ禍の為、書面議決となりましたが、予想以上のご意見が集まり、有難くて、これからきちんと対応したいと思っています。役員会は5回でした。会長、副会長の急な休会希望に役員達は気がかりの方が先立ちました。しかし新役員をお願いした方々は、とまどいながら快く引き受けて下さり、役員会は支障なく動き始めています。この時とても心強く感じたのは、みつば会発会からの会員である方々の、びくともしない言葉の数々でした。

研修はブロック中心になり、五島地区を含めて4地区で活動しました。各ブロック研修報告内容を見ますと、担当役員の気配りの細やかさ、ご苦労が推し測られ会員の方々の要望がなんとなく感じられます。

市町保険者支援事業は、新規の支援依頼市町もぼつぼつあり、毎年依頼を続けている市町と共に増加傾向でうれしい限りです。

健康劇の支援依頼が減っているので、紙芝居の役割・内容の充実がこれから要求されるでしょう。イラストがとても得意な会員がおられるので、活躍してほしいものです。

事務局から、役員会での協議事項として、次の事が提案されています。

- 1、市町保険者は令和2年度より高齢者の保健事業と介護の一体的実施事業が始められており、市町からのニーズに沿った支援内容について考える必要がある。
- 2、みつば会活動の強みである5職種の役割を生かした保険者支援を。
- 3、会としての指導媒体を準備し、会員間で共通した同じ支援を実施する。

以上3項目については、支援要領案が作られており、役員会で検討の後、会員へ提示することになります。

4、災害、感染症対応

この項目については、みつば会会則にも関係してくるので、総会提案、論議が必要になりそうです。

最近読んだ小説で「ひたすら楽しそうにしていれば、人が集まってくる」という表現がありました。グチらず笑顔をふりまいて「みつば会活動さ」と行動しましょう。

<みつば会会員数 令和3年8月時点>

●保健師	12人	会員総数 66人 (休会含む)	
●助産師	3人		
●看護師	10人		
●(管理)栄養士	19人		
●歯科衛生士	22人		

**会員の
所在地状況**



令和3年度 役員紹介

☆令和3年度役員（新体制）

役職	担当ブロック	氏名	職種
会長（代行）	長崎	森 夏實	保健師
副会長	五島	山崎トモ子	看護師
副会長	五島	峰 久代	栄養士
書記	県北	北村 尊子	歯科衛生士
書記	県央	佐藤 慶美	歯科衛生士
幹事	県央	増田 秀美	保健師
幹事	県北	加藤 秀子	管理栄養士
幹事	長崎	湯田 清美	助産師
顧問	—	中村 信	保健師
顧問	—	濱邊 恵子	管理栄養士

令和2年度役員

役職	氏名
会長	木下美智子
副会長	森 夏實
副会長	原口りえ子
書記	伊藤 洋子
書記	北村 尊子
幹事	飛永 恭子
幹事	山崎トモ子
幹事	峰 久代
顧問	中村 信
顧問	濱邊 恵子



【新役員から一言】

増田 秀美（保健師）

この度、ご縁があって役員になりました。4つの専門職との出会いに自分自身の新たな学習の場となり、それが支援につながっていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

湯田 清美（助産師）

今回、みつば会の幹事になりました湯田です。私は昨年皆様のお仲間に入れて頂き、皆様と少しだけ活動させていただきました。幹事となり、皆様の足を引っ張らない様頑張りますので宜しくお願いいたします。

佐藤 慶美（歯科衛生士）

今年度からみつば会役員となり、書記を務めさせていただくこととなりました。担当は県央ブロックです。経験豊富な多職種の皆様とご一緒出来るこの会で、皆さんの沢山の引き出しを勉強させていただき活動できることを幸せに思い頑張っております。よろしくお願いいたします。

加藤 秀子（管理栄養士）

みつば会では他の職種の方ともお知り合いになり、いつも楽しく参加させてもらっています。今年はその役員を引き受けさせていただくことになりました。のんびり屋の私ゆえ、お役に立てるかしらと思いますが、皆様に助けてもらいながら頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【旧役員から一言】

木下 美智子（保健師）

突然に任期途中で会長職を辞めざるを得なくなってしまい、本当に申し訳ないと思います。実は、昨年11月頃から肩甲骨、頸部、左下肢の痛みを感じるようになって日常生活動作（特に起き上がる事、寝ること、座る事等）ができなくなっていました。ひどい時には腕は肩より上がりません。痛みは日に日に酷くなっていくばかりです。もちろん受診していましたが、治療はリハビリのみで、一向に良くなりません。心配した娘たちが「リウマチ性多発性筋痛症」という病気があるらしいよ、プレドニン服用で良くなる、それが診断の目安になるとメールをくれて、それを主治医に見てもらい転院し、治療を受けています。

おかげさまで、症状も良くなり、今はプレドニンの減量中です。約5カ月間家事は夫が全部受け持ってくれて、食事は私がしている時より経済的には大変ですが、内容が豪華になっています。

原口 りえ子（看護師）

長年専業主婦だった私が、役員会で雲の上の役職の方々と直接接することになり、緊張しながらも楽しく学ばせていただきました。有難うございました。

総会では役員継続を承認していただきながら、突然休会することとなり、皆様には多大なご迷惑をお掛けしましたこと、この場を借りて深くお詫び申し上げます。

伊藤 洋子 (管理栄養士)

入会した次の年から6年間務めさせていただきました。職種や年代を超えて各々の方の考え方や、意見を伺うことができたのは、貴重な経験でした。皆様の御協力に感謝しつつこれからも一会員としてみつば会に寄与できたらと思っています。

飛永 恭子 (歯科衛生士)

お疲れ様です。各職種の方との活動、緊張もしましたが色々なお話も聞けて、とても感謝しております。みつば会役員の皆様、事務局の皆様、お世話になり、ありがとうございました。

旧役員の皆様におかれましては、役員会やブロック別研修会、総会・研修会等でたくさんのご支援及び貴重なご助言をいただきました。長期にわたり役員を引き受けてくださり心より感謝申し上げます。大変お疲れ様でした。



新入会員紹介 (令和2年7月~令和3年8月)

〈長崎ブロック〉

佐々木 純江 (管理栄養士)

会の研修会が魅力的でした。やっと会員になり、多職種の皆さんとの活動を楽しみにしています。よろしくお願いします(^^)



〈県北ブロック〉

正林 弓子 (歯科衛生士)

活動を通して小学生から高齢者の方に、歯の大切さ、意識向上の一翼を担っていく決意です。



〈県北ブロック〉

久家 朋子 (歯科衛生士)

皆さんと活動を通し学ぶ事で少しでも貢献できればと考えます。どうぞよろしくお願いします。



〈五島ブロック〉

平山 三枝子 (看護師)

微力ながらなにかお役に立てればと思います。どうぞよろしくお願いします。

〈県央ブロック〉

松尾 明美 (助産師)

皆さんから御指導いただき、知識向上し何かお役に立てたらと思います。よろしくお願いします。



〈長崎ブロック〉

渡邊 さつき (管理栄養士)

皆様と一緒に勉強し、地域の方へ貢献できるよう、夢を持って精一杯がんばります。



令和2年度活動報告

月	日	会 議 等 名 称	開催場所
4	6	第1回みつば会役員会	国保会館
7	14	第2回みつば会役員会	国保会館
	18	ブロック研修会（県北地区 第1回）	清水地区公民館
8	22	ブロック研修会（県央地区 第1回）	森山公民館
9	24	ブロック研修会（長崎地区 第1回）	国保会館
	25	みつば会通信25号 発刊	
10	12	ブロック研修会（五島地区 第1回）	五島市総合福祉保健センター
	17	ブロック研修会（県央地区 第2回）	森山公民館
11	6	第3回みつば会役員会	国保会館
	21	ブロック研修会（県北地区 第2回）	清水地区公民館
12	8	ブロック研修会（長崎地区 第2回）	国保会館
1	12	第4回みつば会役員会	国保会館
2	12	第5回みつば会役員会	国保会館
3	3	令和2年度みつば会総会・研修会	国保会館
その他研修会等			
8	7	令和2年度高齢者の保健事業セミナー [※]	国保会館
12	24	令和2年度糖尿病性腎臓病重症化予防セミナー [※]	国保会館
		みつば会 HP 作成（国保連合会 HP 内）	

※は、国保連合会案内セミナー

令和2年度 長崎県在宅保健事業みつば会総会・研修会

と き：令和3年3月3日(水) 13時20分～15時30分

ところ：国保会館6階会議室 及び オンライン参加



令和2年度のみつば会総会・研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ハイブリッド形式(会場への来場参加とオンライン参加)で開催いたしました。

総会・研修会の参加者数は次のとおり24人、うち6人がオンライン参加でした。

参加人数 (アンケート 回収人数)	保健師	看護師	管理栄養士 栄養士	歯科衛生士	合 計
	3 (2)	7 (7)	7 (5)	7 (5)	24 (19)

総会アンケートの感想等は次のとおりです。(一部抜粋)

- ・事前に会員全員に議案事項やその他に関する意見等をお伺いし、その後役員会で検討して、総会ではまとめて回答していたので良かった。
- ・コロナ禍でのリモートを取り入れた総会で有意義だった。
- ・オンライン、会場と両方に気配りしながらの総会は今回のみにして欲しい。内容的にも駆け足だったので十分に伝わっていないと思う。
- ・コロナが終息して、前と同じように戻れますように。

▶ 研修会は、会員24人に加え、市町国保保険者専門職42人が参加されました。

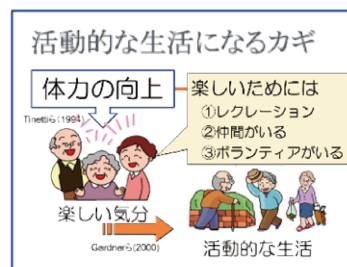
演題：高齢者の身体・疾病の特徴 – 通いの場等に携わる専門職として必要な視点とは

講師：長崎リハビリテーション病院

地域リハビリテーション統括 松坂 誠應 先生

アンケート感想等は次のとおりです。(一部抜粋)

- ・高齢者の心身機能のうち年齢と共に向上するものは「洞察力、総合的な判断力」であること、一人の老人は一つの図書館であることを聴き納得できた。
- ・地域の方々とのつながりの大切さを認識できた。
- ・高齢者の特徴から生活の場まで幅広くご講演いただき、高齢化社会が明るい未来に感じた。みんなで力を合わせて楽しい時代にしていきたい。





令和2年度 ブロック研修会報告



《長崎ブロック》

森 夏實(保健師)

と き：第1回 令和2年9月24日(木)13時～15時

第2回 令和2年12月8日(火)13時～15時

ところ：国保会館

参加者：第1回 9人、第2回 9人



2回とも、主な目的は「支援の為の紙芝居のリハーサル」でした。担当の各職能の方々は、とても意欲的で、指導効果を高める為に、マスクではなくフェイスガードが使われたり、生野菜を持参して補って下さいました。

参加者からは大好評だったそうで、地区担当職員から「来年も是非」と喜ばれたので、はるばる遠隔地へ出掛けた甲斐があったと会員の方も嬉しそうでした。

紙芝居による支援は、ブロック会員はかなり体験者が増えたので、研修としてリハーサルを行う事は一段落かなと思っています。

次年度からは、みつば会活動の強化のための情報や意見の交換、研修も加えて行く必要があると思っています。

《県央ブロック》

佐藤 慶美(歯科衛生士)

○第1回

と き：令和2年8月22日(土)10時～15時

ところ：森山町中央公民館

参加者：9人(新会員4人を含む)

内 容：午前は、みつば会の会則についてや令和2年度の支援事業について等の情報を共有し、支援者を決定しました。午後からは、市町支援に使用する「紙芝居」の実演と意見交換を行いました。また、みつば会強化に向けて参加者間で協議することができました。



○第2回

と き：令和2年10月17日(土)9時～15時30分

ところ：森山町中央公民館

参加者：午前16人、午後14人

内 容：午前は、講師に助産師 中村まり子様をお招きし、「健康教育としての性教育～生涯の豊かな性～」についてご講演いただきました。身体の変化が顕著に現れる思春期の子どもたちに伝える大切なこと、その周りにいる大人に伝える大切なことなどを学ぶことができました。また、健康教育に取り入れたい内容も含まれていてとても参考になりました。午後は、3グループに分かれて紙芝居の修正や内容を再検討しました。参加者から「県央地区の活動として、みんなで楽しくワイワイしましょうね。」との言葉があり、今後も楽しく活動していきたいと思っています。

《県北ブロック》

北村 尊子(歯科衛生士)

と き：第1回 令和2年7月18日(土)14時～15時

第2回 令和2年11月21日(土)14時20分～16時10分

ところ：清水地区公民館

参加者：第1回 12人(他ブロック会員も含む)、第2回 10人



県北ブロックの会員は10名で、そのうち7名は歯科衛生士、2名栄養士、1名看護師という構成ですが、1回目はほとんどの会員さんにご参加いただきお顔合わせすることができ、新旧役員交代の挨拶、支援事業担当者決定や、みつば会の体制強化、今後のブロック研修会等について意見交換しました。

2回目は、役員以外は歯科衛生士だけの参加となりましたが、1回目の意見交換で“支援事業のやり方等、他の人の経験報告を聞くことは勉強になる”という意見を基に、支援事業における紙芝居の紹介(実演)を行い、支援媒体(紙芝居)の内容把握を行いました。

そして意見交換では、支援事業の媒体で新しい紙芝居の作成について検討しましたが、様々な意見交換の結果、次年度は、健康づくり出前講座のテーマ「お口の健康について(むし歯予防)、歯周病との全身疾患の関係」、高齢者健康事業のテーマである「オーラルフレイル予防について」の指導媒体、指導台本を作成することに決定しました。

県北ブロックの会員はほとんどが歯科衛生士なので、内容が口腔の健康づくりに偏りがちです。他職種の方にもご参加いただければ意見交換の幅も広がり、協同支援の新たな発想等も出てくると思います。是非他のブロックからも様々な職種の方の参加をお待ちしております。

《五島ブロック》

山崎 トモ子(看護師)

と き：令和2年10月12日(月)13時30分～15時30分

ところ：五島市総合福祉センター

参加者：8人



五島ブロック立ち上げ後、初めてのブロック研修会を五島市総合福祉センターで行いました。参加者は会員3名と五島市の保健師、国保連より2名、役員2名の計8名。

1. はじめに、支援を依頼した「健診受診勧奨について」コロナ禍で見送ることになったとの報告を受けました。
2. 令和2年度のみつば会事業について、役員会の報告、今後の会場の件、ブロック研修会に講師を依頼することが可能になったこと等を説明しました。
3. 実際に健康劇のシナリオを使って読みあわせを行いました。意見交換の中で、地域の実情にあった内容に五島弁を入れて五島バージョンのものを試作してみたいなど、活発な発言が聞かれました。日頃から会員さんは、集団健診や訪問介護に携わっておられます。高齢化が進む地域の中で、少しでもお役に立ちたいという熱い気持ちが伝わりました。何より五島でブロック研修会ができたことを喜んでおられました。

令和2年度 支援事業報告

	保険者名	事業種類	希望内容	対象者	参加人数	実施日時	支援者
1	長崎市①	紙芝居	高齢者のお口と調理の工夫について	自主グループ 60～90歳代	19名	令和2年10月8日(木) 13:30～15:00	丸山 美代子 (管理栄養士) 飛永 恭子 (歯科衛生士)
2	長崎市②		高齢者のお口と調理の工夫について	高齢者サロン 60～90歳代	21名	令和2年11月13日(金) 13:40～14:45	濱邊 恵子 (管理栄養士) 北村 尊子 (歯科衛生士)
3	長崎市③		高齢者のお口と調理の工夫について	高齢者サロン 60～90歳代	15名	令和2年12月15日(火) 10:00～11:45	峰 久代 (栄養士) 北村 尊子 (歯科衛生士)
4	長崎市④		高齢者のお口と調理の工夫について	高齢者サロン 60～90歳代	21名	令和3年3月5日(金) 13:25～14:30	北村 尊子 (歯科衛生士) 伊藤 洋子 (管理栄養士)
5	長崎市⑤		高齢者のお口と調理の工夫について	高齢者サロン 60～90歳代	21名	令和3年3月10日(水) 13:30～14:30	堂下 真弓 (管理栄養士) 北村 尊子 (歯科衛生士)
6	諫早市	サロンへの支援	ロコモ予防、高齢者の食事、フレイル予防について	地区高齢者の老人会	13名	令和2年11月10日(火) 13:20～14:40	犬塚 恵子 (保健師) 松平 益美 (栄養士)
7	佐々町①		オーラルフレイル・歯周病と生活習慣病の関係性について	食生活改善推進員 50～70歳代	21名	令和2年9月1日(火) 10:00～10:45	久松 美也子 (歯科衛生士)
8	佐々町②		オーラルフレイルについて	地域の高齢者 60～70歳代	17名	令和2年10月1日(木) 10:30～11:15	山口 方子 (歯科衛生士)
9	佐々町③		オーラルフレイルについて	地域の高齢者 60～70歳代	23名	令和2年10月22日(木) 14:00～15:00	初瀬 しず子 (歯科衛生士)
10	佐々町④		オーラルフレイルについて	地域の高齢者 60～70歳代	16名	令和2年10月28日(水) 10:45～11:20	松崎 知夏 (歯科衛生士)
11	佐々町⑤		オーラルフレイルについて	地域の高齢者 60～70歳代	17名	令和2年11月20日(金) 10:00～11:00	桑原 智子 (歯科衛生士)
12	小値賀町①	出前講座	オーラルフレイル・歯周病と生活習慣病の関係性について	小学校6年生	14名	令和2年11月13日(金) 14:50～15:35	正林 弓子 (歯科衛生士)
13	小値賀町②		成長期に必要な栄養について	中学校1年生	15名	令和2年11月20日(金) 11:30～12:20	伊藤 洋子 (管理栄養士)



1 諫早市保健事業支援事業 「ロコモ、フレイル予防」

と き：令和2年11月10日（火）
と ころ：井手口公民館（諫早市）

犬塚 恵子(保健師)

コロナ禍で地域の高齢者が集まる機会が減っている中、70歳から90歳までの高齢者が14人集まってくださいました。公民館に入るときはそれぞれマスク着用と厳重な手指の消毒を代表の方々が準備をすすめてくださいました。長期間のステイホームで足腰の筋力の低下を実感して頂くためフレイルチェック5項目を自己採点しましたが、動くことが減り半数ほどの方に筋力低下がみられました。



資料にそってフレイル予防の3つのポイントとして①自分に合った運動習慣を持つ②社会参加をする③しっかり食べて低栄養を予防すること等、実例を示しながら話を進めさせていただきました。そのあと、雰囲気盛り上げるためゲームの中で脳トレと筋力アップ運動を目的に3人組での体操ゲームで笑いを頂きました。また、自宅でお孫さんと遊べる「ティッシュ落としゲーム」で足腰の筋力アップと俊敏性のアップを体験しました。事業の前に敬老会の報告会があり皆さん座位の時間が長かったので立って皆さんと動くことができリラックスされていました。

それぞれ真剣に聴いていただき、自ら運動量が減っていることを自覚された方からは自宅での運動時間について質問を受けました。また一人暮らしの方々は話をしなくなり、口腔周囲の筋力も低下し、誤嚥性の肺炎を起こしやすくなるので、1日1回は誰かと話をし、また、食前には「お口の体操」もして頂くよう話をさせていただきました。

栄養士さんからは「フレイル予防の食事」として、特に免疫力を高めるような食事や生活習慣について話していただきました。

また、「31歳と81歳の特性当てクイズ」で盛り上がりました。

最後に季節の歌「紅葉」と赤とんぼ、脳トレ笑歌をオカリナの伴奏で歌っていただきました。会場には森山公民館の館長さんやみつば会の木下会長も来ていただきご挨拶をして頂きました。みつば会の支援事業をはじめ活用された地区でしたが、今後お願いしたいということでした。

今回一緒に本事業に関わってくださった松平栄養士さんとは、事前に一度打合せをさせていただきスムーズに進行することができました。毎回、緊張しながらの支援事業ですが、参加者の方々に喜んでいただき、私自身、もっと日ごろから研鑽することの必要性を実感しました。



2 長崎市保健事業支援事業 「紙芝居_高齢者のお口と調理の工夫について」

と き：令和2年10月8日（木）
と ころ：黒浜地区（長崎市）

丸山 美代子(管理栄養士)

秋晴れの日、歯科衛生士の北村さんの車に同乗させていただきました。黒浜の公民館はバス停のすぐ前がありました。すでに地元の方が集まっていたらしく、お世話の方のご案内で会場を準備し、4つ葉マークの布や紙芝居の台、スタッフの場所を設定しました。歯科衛生士飛永恭子さんと講話しました。皆さんといっしょに体操をし、歯の衛生、紙芝居と進み、紙芝居の中で料理が出てきましたので、野菜の切り方につ



いて少し具体的に説明しました。野菜を3種類くらい持っていっていましたが線維にそって切るか、逆らって切るかで、噛みごたえが違うことを説明しました。又、だんだんと包丁を使う力が弱くなるので、ピーラー等を上手に使うことも必要です。後半はマイクがあった方がもっとよかったのではないかと思います。

3 小値賀町保健事業支援事業 「虫歯・歯周病に関すること」



と き：令和2年11月13日（金）

と ころ：小値賀町小学校

正林 弓子(歯科衛生士)

令和2年11月13日、小値賀小学校6年生の歯の健康講話支援に行ってきました。テーマは「虫歯・歯周病予防に関すること」で、講話は、初めての経験でとても勉強になりました。パワーポイントを使っ



ての45分の内容でしたが、反省点や今後の課題など沢山勉強になる45分でした。パワーポイントでは、写真や動画を使ったお話で、子どもたちからも自然と「うわあ〜」や「いやだあ〜」という言葉が出てきており、とても印象に残るお話だったと、養護教諭の先生から感想を頂きました。

また、コロナの影響で歯科にかかわらず受診率が低下しており、学校側も試行錯誤されているとの事でした。みつば会の出前講座により、正しい歯の磨き方、定期的に歯科医院を受診することの大切さをお話させていただき、子どもたちの意識向上の、一翼を担えたとしたら嬉しい限りだと思いました。子どもたちからも、たくさんの感想を頂き、今後の励みにもなりました。

人に伝えることは、自分が何より勉強して知識を蓄えること、また、分かりやすく伝えるために子どもたちは何に興味があるのか体験型にして、もっと楽しく授業を受けてもらいたいなど沢山の課題を教えてもらいました。今後、歯科衛生士として更に研鑽を深めて、たくさんの人に歯の大切さを伝えることができるよう、成長して参ります。



今年の4月に国保連合会に入職し、みつば会の担当の一員として加わりました、座木 芽来美(ざき めぐみ)と申します。これまでは病院で看護師や保健師として働いていました。まだまだ勉強不足な部分や不慣れな点もあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願いいたします。



保険者支援課保健事業班 座木 芽来美

令和3年10月発行

第26号みつば会通信

発行所 長崎県国民健康保険団体連合会

保険者支援課保健事業班

(長崎県在宅保健事業みつば会事務局)

長崎県長崎市今博多町8番地2

TEL 095-826-7301

みつば会会員の拡大に向けて



「新会員」募集しています！！

長崎県在宅保健事業みつば会の会員数は、現在66人です(令和3年9月末時点)。
5職種(保健師、看護師、助産師、管理栄養士・栄養士、歯科衛生士)が協力
し合い、県内市町の健康づくり事業に貢献していきます。

—県内市町健康づくり事業への支援内容

- ・見て楽しく、聞いてためになる紙芝居や健康体操
- ・高齢者健康事業(サロン等)への支援
- ・健康づくり出前講座 など

※支援いただいた場合には報酬をお支払いいたします。



—その他、みつば会総会や研修会では、

地域の健康づくり事業に活かせるものや専門的知識を高めることができる講演が組み込まれています。また、他職種の方との交流が持てることも魅力です。

***入会無料、会費もありません。**

お近くに在宅で活動されている方や、退職される方がいらっしゃいましたら、ぜひお誘いください。

お問合せ、入会希望の方は事務局(国保連合会)までお知らせください。

<連絡先>

長崎県国民健康保険団体連合会 保険者支援課保健事業班

住所 〒850-0025 長崎市今博多町8番地2

電話 (095) 826-7301 FAX (095) 826-7384